

## 平成 27 年度第 3 回社会教育委員会議 議事要旨

### 1 日時

平成 28 年 1 月 14 日（木）18：00～19:34

### 2 場所

とかちプラザ 特別会議室

### 3 出席委員（20 名中 17 名出席）

松本 健春 委員長、高倉 美恵子 副委員長、我妻 公裕 委員、辻 敦郎 委員、大場 渉 委員、阿部 好恵 委員、矢野 充 委員、中田 由美子 委員、松田 信幸 委員、池田 健一 委員、大槻 みどり 委員、田中 恵子 委員、久保田 博己 委員、半田 聡 委員、藤崎 博人 委員、高橋 弘史 委員、廣瀬 有紀 委員、奥村 喜実 委員、佐々木 祥世 委員

### 4 事務局

神田 亜紀志 生涯学習部長、敦賀 光裕 スポーツ振興室長、葛西 克也 生涯学習部企画調整監、本江 宏子 図書館長、樂山 勝則 生涯学習課長、西尾 仁 スポーツ振興主幹、泉 和知 スポーツ施設担当主幹、北沢 実 百年記念館長、高橋 利夫 動物園長、島田 猛 生涯学習課生涯学習推進係長、遠谷 栞 生涯学習課生涯学習推進係係員

### 5 社会教育委員活動に関する講演（飛岡 抗 前社会教育委員長）

### 6 議事

#### ○議事

#### （1）会議等出席報告について

第 55 回北海道社会教育研究大会（日高大会）兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会について奥村委員より報告があった。

<質問なし。>

#### （2）帯広市新総合体育館の整備運営に向けた取り組みについて

#### ○事務局（スポーツ振興主幹）

資料 2 に基づき説明。

#### ●委員長

今年度第 1 回の会議で説明があったが、今回はその後の経過について新たに加えられている。新総合体育館は帯広市における貴重な社会資源となり、将来にわたって運用されるものである。質問・意見等はあるか。

●委員

今回初めて会議に参加した。二点質問がある。付帯施設について詳しく説明を求む。三日月形の土地があるが、その所在はどこにあるのか。

○事務局（スポーツ振興主幹）

付帯施設とはトレーニング室や多目的室、スタジオ等を考えている。三日月形の土地は河川の管理用地である。

●委員長

今回初めて参加された委員もいらっしゃるので、前回の報告についても含めて、何か質問等があれば市の方までお問合せ願いたい。

○事務局（スポーツ振興室長）

今回は概略を示している。これまで、近隣住民、体育団体、障がい者の方々と意見交換をしており、次回の委員会では詳細を具体的にお伝えしたい。

(4) 社会教育委員会議の研究テーマについて

●委員長

資料3に基づき説明。社会教育委員が調査研究したことを、市に報告提案することが社会教育委員活動の活性化につながる。前回会議終了後、正副委員長と事務局とで協議し、テーマの案を設定した。「地方創生における社会教育の役割について」という大きな課題を掲げているが、今後予定している5回の会議のなかでそれぞれテーマを設定し、調査、研究、議論し、報告としてまとめていきたいと考えている。5回の会議を経た後、意見や結果を集約し、市へ報告書を提出したいと考えている。そこで、具体的にどのようなテーマを設定するか意見をいただき、議論していきたい。何か意見・質問はないか。

前回までには、基幹産業の農業や食育に係る意見のほか、歴史を学ぶ必要性等について意見があった。地域の課題としては、帯広市の持つ強み（風土、歴史、産業など）や優位性を学ぶこと、町内会などにいる地域の人材の発掘、社会教育の本質を掘り下げること、などといった課題が挙げられている。また、社会教育委員会議と他の教育行政との連携を図るには、いかようにしていくべきか（教育委員や各学校長との意見交換など）も挙げられる。

●委員

いずれも重要な問題。これらは単年度の計画と考えているのか。

●委員長

今期の任期2年の中でまとめていきたいと考えている。

●副委員長

社会教育委員は一体何をするのかということを常に考えている。それぞれの委員が取り組んでいることと思う。全道大会に出席したときにも問われたが、「委員は何をするのか」を明確にしたい。そのために委員同士が密に話し合い、互いの理解を深めたい。また、様々な施設があるが、訪れたことがない場所もあるはず。それらの施設のことを知り、市外へも周知したい。また、それぞれの委員の知見を活かした勉強会をしたいと考えている。

●委員長

現在の委員の方々は、それぞれの分野に長けた方が集まっており、その活動内容を知ることとも必要ではないか。

●委員

(感想になるが) 町村によっては、事務局が作った資料に追随するように活動をしているところもある。帯広市社会教育委員の場合は極めて能動的に活動しており、委員としての役割を果たすべく、積極的に学習・活動を行っている。これらのことは非常に良いことである。そういった意識をもってテーマを設定することに賛成である。

●委員長

研究テーマを決めて活動していくということによろしいか。市内社会教育施設を知り(会議会場も変更していく予定)、各委員の知見を活かした研修・勉強会を兼ねて進めていくことも考えている。その学習成果を各委員が活かしていくように方向付けていきたい。次回の会議までに委員の皆様へ研究テーマについて意見集約シートを送付し、意見をいただくこととしたい。

(4) その他

●副委員長

飛岡氏の講演にあった社会教育委員手帳を委員全員が持ったら良いと思うが、配付できるだけの予算はないのか。

○事務局(生涯学習課長)

素晴らしい提案であるが、そのような特定の予算はない。大切なことは社会教育委員手帳を持つことではなく、社会教育に必要なことを理解して取り組むことなので、必要であれば別な形で取り組んでいくべきであると考えます。

○事務局(生涯学習課長)

会議のテーマについて決まったところだが、残された5回の会議の中で効率的に議論していくことが必要となる。そこで、各会議の前に事前に意見集約シートを配らせていただく。また、1つ1つの会議でどのような取り組みでいくかが重要。今後、正副委員長と事務局で協

議の上、会議毎のテーマを協議し、案をお示ししたいと考えている。何卒ご了承ください。

#### 事務連絡

- ・マイナンバーの収集について
- ・次回の会議の開催について（4回2月25日（木）18：00～とかちプラザ）
- ・研究テーマの意見集約シートの事前配付について

以上